



キスト岡崎エイブラハム・さゆ里 活動協力会 ニュースレター

2018年 6月

キスト岡崎宣教師活動協力会 発足

キスト岡崎エイブラハム及びさゆ里宣教師活動協力会発足礼拝（3月27日・久が原教会）が、藤崎義宣牧師司式・岸俊彦東京教区議長説教によって執り行われました。南支区内外の16教会（奥沢、柿ノ木坂、蒲田新生、行人坂、久が原、白金、新栄、洗足、高輪、田園調布、中目黒、碑文谷、青山、経堂北、草加、鳴海）より45名の出席者と、祝電・献金（青森松原、香川豊島、調布、横浜指路、日立）をいただきました。続いて持たれた愛餐会では、全員より自己紹介とそれぞれの信仰の旅で出会った宣教師の方々との思い出などが語られ、世界宣教の幻を共有する心温まるひと時でした。

「だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい」という主のみ言葉に答え、アメリカ改革派教会（RCA）が派遣しているキスト岡崎宣教師を教会の伝道協力の業に用いてください。

☆連絡先：キスト岡崎宣教師 kist_okazaki@hotmail.com 東京都品川区上大崎 1-10-12-2 (03)3440-4939

祝辞 加藤誠幹事（教団世界宣教部）

キスト・岡崎・エイブラハム、キスト・岡崎・さゆ里両宣教師の活動協力会設立おめでとうございます。派遣元のアメリカには両宣教師を祈りにおいて、献金のサポートにおいて支える教会が多くあることは存じておりました。日本に派遣された宣教師の支援会をこの日本でも立ち上げると言う話を私はこれまで聞いたことがありません。それだけ両宣教師のこれまでのお働きが評価され、久我原教会、南支区を大きく超えて、これまで以上に主の教会のための奉仕が広がってゆくことが期待されています。

今月半ばに広島で開催された宣教師会議にお二人は車で参加されました。それは宣教師会議後に瀬戸内海の島の教会での奉仕が待っていたからです。片道1000キロ近いドライブであったとしても主の教会のために喜んでお仕えるその姿は、若い宣教師たちの良き模範であります。宣教師会議で改めて認識したのですが、両宣教師より古い現役の宣教師は数えるほどです。お二人にはこれからも新しい支援会の祈りのサポートを得つつ、宣教師たちをリードしてゆく事も含めて、更に豊かに主にお仕える道が開けることを確信しつつ、お祝いの言葉とさせていただきます。

世界宣教幹事：加藤 誠

キスト岡崎エイブラハム・さゆ里宣教師活動協力会とは

1. 宣教師と共に宣教活動方針を立て、実現に向けて協力する。
2. 宣教師の霊的な支えとなり、日本の福音宣教のために共に祈る。
3. 宣教師がより広く用いられるためのアピールと活動のための募金を行う。
4. RCA 世界宣教局および RCA 支援教会と交わりを持つ。

献金先:三井住友銀行 下丸子支店(普)0500447 久が原教会

活動協力会委員

藤崎義宣師(久が原・会長)八木浩史師(奥沢・事務局長)大塩光 師(蒲田新生)黒米忠一師(白金)
増田将平師(青山)辻順子師(鳴海)浅見英明(久が原)成松三千子(柿ノ木坂)森本潔(田園調布)

賛同人

フェリス女学院大学 大学長 秋岡 陽教授
青山学院大学 宗教主任 伊藤 悟教授
日本基督教団 東京教区議長 岸 俊彦師
東京神学大学、RCA 宣教師日本代表 ウェイン・ジャンセン教授

日本基督教団 総幹事 秋山 徹師
日本基督教団 世界宣教部幹事 加藤 誠師
東京教区南支区 田園調布教会主任牧師 高橋和人師